NILZZ RACING FACTORY

OKAYAMA GT 300KM RACE

2025 AUTOBACS SUPER GT Round.1 RACE REPORT

カテゴリー	：SUPER GT SERIES 2025　GT300 クラス
エントラント	：NILZZ Racing
カーナンバー	：48
マシン名称	：脱毛ケーズフロンティア GO&FUN 猫猫 GT-R
ドライバー	：井田太陽 / 柴田優作
開催地	：岡山国際サーキット (岡山県)
開催日	：2025.4.12～2025.4.13
天候	：曇り (4.12)　　雨 / 曇り (4.13)
イベント動員数	：8,700 人 (4.12) / 14,500 人 (4.13)

公式練習	：1’27.096（GT300 クラス 23 位）
公式予選 Q1	：1’26.651（GT300 クラス A 組 10 位）
公式予選 Q2	：----
公式予選	：1’26.651（GT300 クラス 20 位）
決勝	：GT300 クラス 23 位 (76 周)

脱毛ケーズフロンティア
GO&FUN GREEN NATURAL POWER
猫麦とろろ
Nachoneko
YELL
Growrance
LEGAL FRONTIER
HOUSE PRO Comfortable Life
株式会社 曽我建築設計事務所
Ozone Air Generator AIR BUSTER
COIN PARK
TONE
ARVOU
M.Crew
HILTEX www.hiltex.co.jp
アーツ銀座クリニック
CARAPP
FUNDINNO
KTEL
NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3 Customer Racing
Ritemas
Arai HELMET
MOTUL
CKK
YOKOHAMA
RAYS
WinmaX
POWER STATION
W-ESTATE
iNOKI
NOUGEI KANRI
ORCA

2025 年 4 月 12 日から 13 日にかけて、SUPER GT SERIES 開幕戦 “OKAYAMA GT 300KM RACE” が岡山県の岡山国際サーキットで開催された。
今季はドライバーは井田太陽と柴田優作、マシンは日産 GT-R nismo GT3 を継続。
昨年話題となった人気 VTuber の猫麦とろろ、nachoneko とのコラボレーションも継続となった。
昨年からの継続を力に、NILZZ Racing の 2025 年シリーズが始まった。

4 月 12 日 (土) 公式練習

晴れの国、岡山にふさわしい快晴の中、9 時 30 分から公式練習が行われた。
序盤は柴田、中盤は井田を中心に連続走行を行い、セッション終盤から GT300 専有走行は柴田がセッティングや予選シミュレーションを行い、2025 年最初のセッションを順調に終えた。
ベストタイムは柴田が最後の計測で 1 分 27 秒 096 を記録し、GT300 クラス 23 位という結果となった。

4 月 12 日 (土) 予選

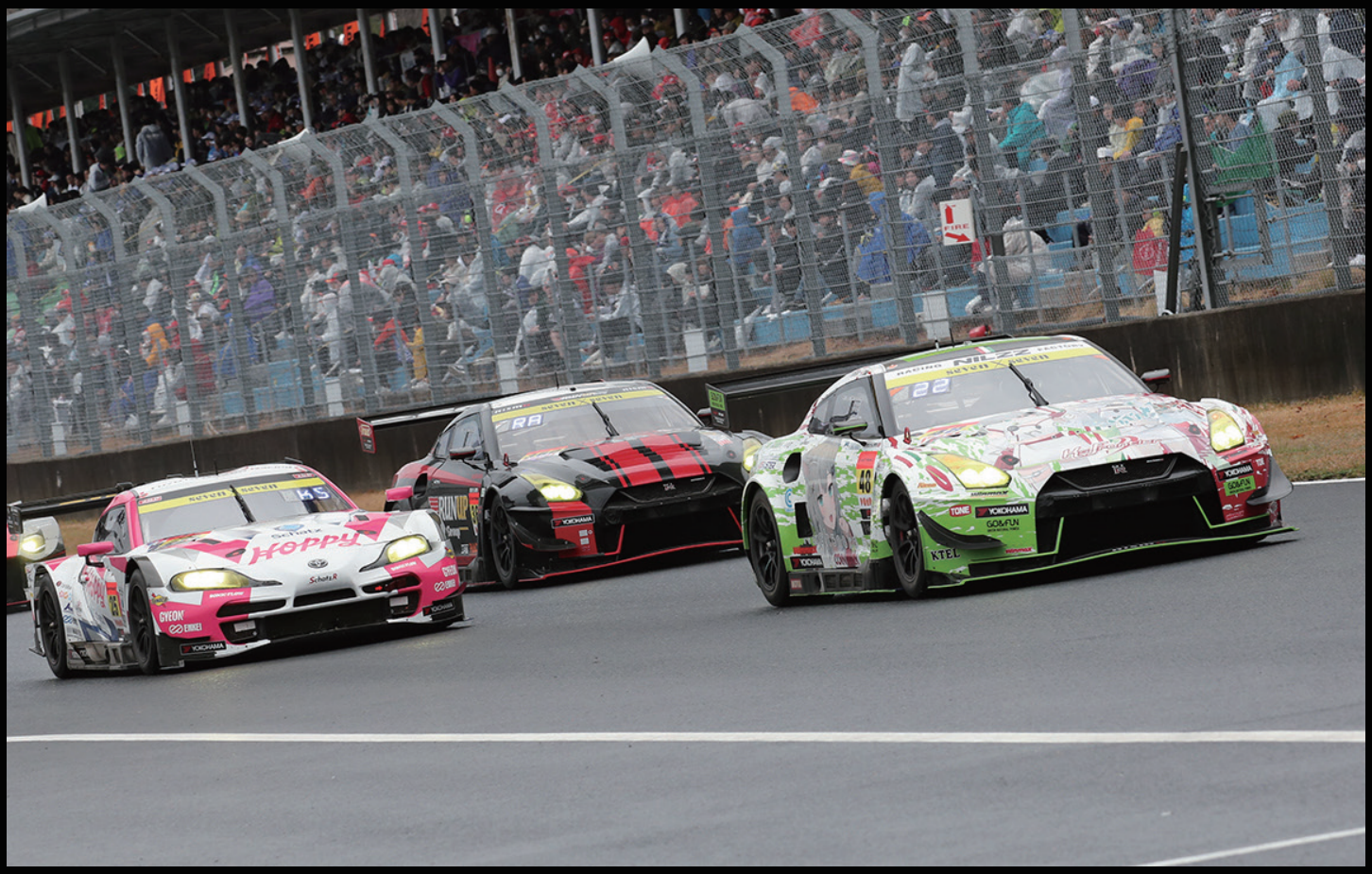
午後になると曇り空とはなったが、引き続きドライコンディションで行われた公式予選。
今季は予選フォーマットが 2023 年まで行われたノックアウト方式で行われることになり、予選 Q1 は 2 グループに分けられて行われた。
NILZZ Racing は A 組に振り分けられ、14 台中 9 台が予選 Q2 へ進出となる。
NILZZ Racing の Q1 アタックドライバーは柴田が担当。
コースイン後、入念にウォームアップを行った後、アタックを開始。
計測 5 周目に 1 分 26 秒 651 を記録し 8 番手につける。

翌周もアタックを継続。コース上ではセッション終了のチェッカーフラッグが提示された。
NILZZ Racing はこの時点で 10 番手。柴田の最後のアタックに Q1 突破の期待がかかるが、惜しくもタイム短縮には至らず、Q2 進出を果たすことができなかった。
その後行われた B グループ Q1、Q2 の結果、NILZZ Racing は GT300 クラス 20 位という予選結果となった。

4 月 13 日 (日) 決勝

決勝レースは朝から降り続く雨の影響でウエットコンディションで行われることになった。
13 時 10 分、この雨により、セーフティーカー (SC) 先導でレースはスタートした。
4 周にわたって隊列走行を続けた後、レースがスタート。しかし、直後の 1 コーナーで GT500 クラスの多重クラッシュが発生し、再度 SC が導入。そのまま赤旗が提示され、レースは一時中断となった。
赤旗が解除され、レースは 7 周目から再開。SC 先導による隊列走行の後、11 周目に入ったところでレースが再開された。
スタートを担当した柴田はロングスティントを担当する予定のため、タイヤを保たせながら周回を重ねる。
荒れた展開が続く中、3 回目の SC が導入された頃から天候は回復していき、コンディションが徐々に回復していった。
徐々に順位を上げていった柴田は、ピットストップ直前には GT300 クラス 8 番手まで順位を上げることに成功。
50 周目にピットイン。柴田から井田へとドライバー交代を行い、給油とタイヤ交換を行った。
ウエットかスリックかで非常に判断に苦しむコンディションで、チームはウエットタイヤを選択。井田をコースに送り出した。
しかしこのピットアウト直後、路面コンディションは一気に回復し、ウエットタイヤでの走行は非常に厳しいものとなった。
59 周目、井田がピットイン。スリックタイヤに交換し、レースに復帰するが、順位を大きく落としてしまう。

Hefrontier
GO&FUN GREEN NATURAL POWER
猫麦とろろ
Nachoneko
YELL
Growrance
LEGAL FRONTIER
HOUSE PRO Comfortable Life
株式会社 曽我建築設計事務所
Ozone Air Generator AIR BUSTER
COIN PARK
TONE
ARVOU
M.Crew
HILTEX www.hiltex.co.jp
アーツ銀座クリニック
CARAPP
FUNDINNO
KTEL
NISSAN nismo NISSAN GT-R NISMO GT3 Customer Racing
Ritemas
Arai HELMET
MOTUL
CKK
YOKOHAMA
RAYS
Winmax
POWER STATION
W-ESTATE
inoki
NOUGEI KANRI
ORCA



終盤まで荒れた展開が続いたが、井田は 77 周を終えたところでチェッカーフラッグを受け、NILZZ Racing の 2025 年シリーズ初戦は GT300 クラス 23 位という結果で終了した。

荒れたレース展開や、難しい選択を迫られるコースコンディションの中、非常に厳しいレースとなりました。
しかし、無事完走を果たし、随所で昨年以上の力強い走行を見せることができたレースだと思います。
次戦富士大会でも、力強いレースを継続してお見せできるよう頑張ります。
引き続き、皆様のご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。